

1, 保育計画

保育士一人一人が、トキワ保育園の保育理念・保育方針を理解している。	A
保育計画を作成する際、職員間で話し合いの場がもたれている。	A
保育計画は、トキワ保育園の保育理念・保育方針を十分に理解した上で作成されている。	A

慣らし保育の間に改めて会議にて保育方針の確認、クラスとしての目標などをしっかり話す時間をとって作成できた。
年度途中の時間の確保が難しいが、今年は保育室での連携なども含め共有出来ていたように思う。

2, 子どもへの関わり

運動を通して、基本的な体力や気力を身につけられるよう工夫されている。	A
子ども達一人一人の性格を十分に把握し、集団への参加を援助している。	A
子ども達一人一人の発達段階を理解し、無理のない余裕を持った保育環境を創造し、個人の自覚を促すよう配慮されている。	A
日常生活上必要な「思いやりの心・気持ち」を育て、保育士一人一人が美しい日本語を使用し、「優しさ・温かさ・いたわりの心」を意識し保育にのぞんでいる。	A
子ども達一人一人の思いを受け止め、安心できる環境作りに配慮し、信頼関係を築くように努力している。	A
一人一人の発達の状況や、課題点などを会議等で全職員で共有し、意見を出し合い改善していけるように努めている。	A
保育士一人一人が全児童への平等な関わりが出来ている。	B
日々の保育の振り返りを次に繋げていけるように努めている。	A

何度も同じことを繰り返してしまったり、他児が関わる問題になると、加配がついていても年齢によっては「ダメ」なことを言わざるを得ない。その際に、職員の感情のコントロールが難しい時は、必ず他の職員がサポートに入り変わることにしている。もちろん、一人一人への平等な関りは意識しているが、保育はチームで成り立つものとも考えており、見て見ぬふりはしないこと、誰もが関わる事ができる雰囲気を大切にしている。

3, 食事

子どもの意思を尊重し、食事の援助が出来ている。	A
食育の重要性を理解し、食べることの楽しさを子ども達と共有出来るよう工夫している。	A
子ども達一人一人のペースを尊重し、ゆとりのある時間配分が出来ている。	A

今年度はおにぎりのおやつでもラップで自分で握って食べたり、実際に触ったりする機会を増やし、給食を楽しめるように工夫した。意思は尊重しているが、みんなの応援や職員の呼びかけで食べることが出来ている。頑張れるところは頑張りたい。

4, 保護者支援

子どもの様子を保護者と共有出来るように努めている。	A
保護者からの意見や疑問点は園長に相談し、些細なことでも丁寧に回答している。	A
保護者と話す際、正しい日本語を使い丁寧な対応を心がけている。	A

日々の会話、一年を通しての面談を行い、保護者全員と話す機会を設けている。意見に対してはすべてをこちらや保護者の意向にするのではなく、こちらの思いや見通しを話したり、保護者と共有し一緒に目標に向かうことを心がけている。

5, その他

室内・屋外共に清潔が保たれるように配慮している。	A
玩具消毒、布団日光消毒等を定期的に行っている。	A
施設設備や遊具等の安全点検を定期的に行っている。	A
小学校へ向けて子ども達の期待が膨らむように連携を取っている。	A
職員の仕事や役割分担が明確であり、連携を取って円滑な園運営が出来ている。	A

エアコンの業者清掃を入れることが出来た。10年たち、経年劣化が見られるので今後も対応が必要と思われる。小学校との連携はかなりリズム化していて、職員同士の話の時間も取れたり、1年生に上がる前にいろいろと挑戦することも増えた。